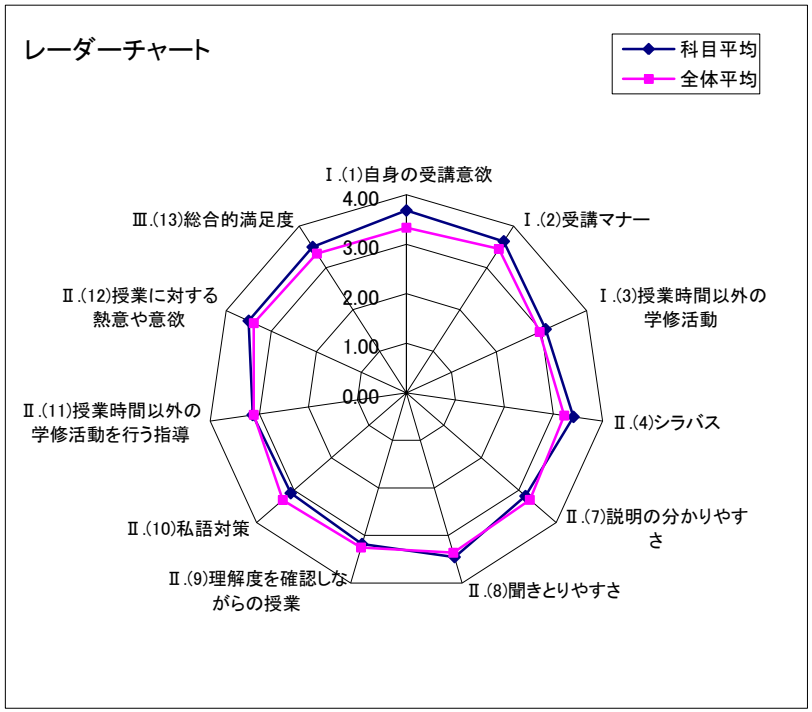
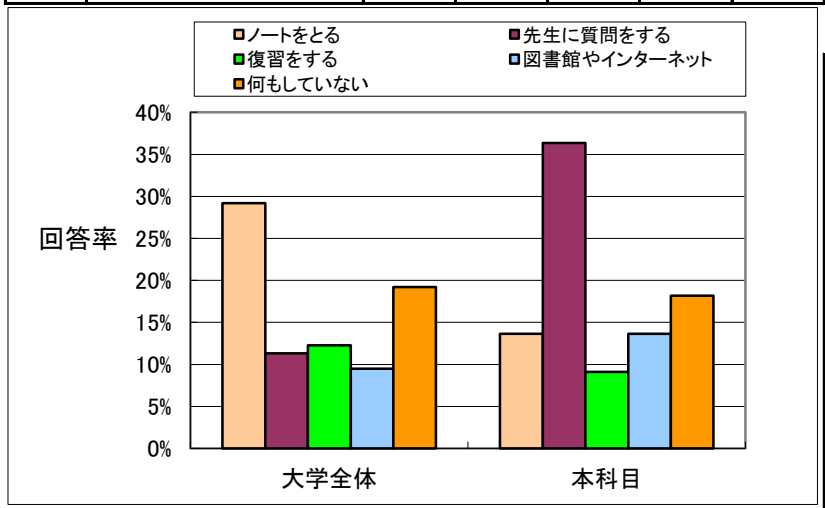
# 講義科目　授業アンケート結果




| | 設問No. | 科目平均 | 全体平均 |
|---|---|---|---|
| 自身の受講姿勢 | Ⅰ.(1) | 3.68 | 3.33 |
| | Ⅰ.(2) | 3.64 | 3.45 |
| | Ⅰ.(3) | 3.09 | 2.96 |
| 講義内容・方法 | Ⅱ.(4) | 3.41 | 3.22 |
| | Ⅱ.(5) | | |
| | Ⅱ.(6) | | |
| | Ⅱ.(7) | 3.18 | 3.30 |
| | Ⅱ.(8) | 3.45 | 3.36 |
| | Ⅱ.(9) | 3.18 | 3.25 |
| | Ⅱ.(10) | 3.09 | 3.30 |
| | Ⅱ.(11) | 3.14 | 3.11 |
| | Ⅱ.(12) | 3.50 | 3.39 |
| 総合評価 | Ⅲ.(13) | 3.50 | 3.34 |

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

| <※複数選択可項目> | | ノートをとる | 先生に質問する | 復習をする | 図書館やインターネット | 何もしていない |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅳ.(14) | 授業を理解するための工夫 | 13.6% | 36.4% | 9.1% | 13.6% | 18.2% |




| | 本科目平均 | 全体平均 |
|---|---|---|
| 自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3) | 3.47 | 3.25 |
| 講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12) | 3.28 | 3.28 |
| 総合評価 Ⅲ.(13) | 3.50 | 3.34 |

# アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

| | |
|---|---|
| 授業年度 | 2013年度　後期 |
| 時間割番号 | 2406 |
| 科目名 | 実験で学ぶ科学 |
| 教員名 | |

①授業計画の達成度について

シラバスを通して実験内容や目的は示し、シラバスからの変更点についても授業冒頭に説明した。その結果、授業内容等を把握していた受講生は多かったものと思われる。難易度に関しては、設問5「難しい」との回答の平均が3.18と、設問6「易しい」の2.27よりも顕著に高く、授業内容を難しいと感じていた受講生が多かった。実験が「科学」をテーマとした理系的な内容であったこと、実技的な実験作業に加えて実験結果のまとめや考察にも取り組み、レポートを作成する必要があったことから難しく感じたのではないかと考えられる。

②授業の進め方について

設問7～10の「説明の分かりやすさ」「聞き取りやすさ」「理解度の確認」「私語の少なさ」に対する回答の平均はいずれも3.2前後の値であり、他の科目を含めた全体の平均と大差がない。設問13の「授業満足度」は平均3.50であり、全体の平均3.34よりも若干高めであり、「実験」という受講生が主体的に動くことができる授業内容であったため、満足に感じた受講生がやや多かったものと思われる。グループ実験のため、ある程度の私語が発生するが、授業と無関係な私語は抑えるようにしていく必要がある。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

受講生がグループで主体的に取り組む「科学実験」をテーマにした授業であり、座学とは異なる面白さを感じてもらえたものと思われる。ただし、実験内容そのものへの理解は十分とは言えず、実験結果をまとめたレポート作成に対する指導も必ずしも完全ではないという問題点がある。実験内容の理解、実験作業、実験結果のまとめ、解析や考察など、科学実験の流れを丁寧に体験できるよう、可能な限り実験内容を単純かつ明確なものとし、時間的に余裕をもった授業展開を計画する必要がある。

奈良産業大学